

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
 担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道4号 大衡道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県黒川郡大衡村大衡爪木 至：宮城県黒川郡大衡村駒場字蕨崎		延長	4.5 km	
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道4号は、東京都中央区を起点とし青森県青森市に至る一般国道で、白石市と仙台市、大崎市、栗原市を經由して宮城県内を南北に縦貫する道路である。このうち大衡道路は大衡村内を通過する延長約4.5 kmの4車線化拡幅事業である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当該区間の整備により、渋滞ボトルネックが解消し、円滑な物流が確保され東北全体の復興・企業活動を支援するとともに、交通事故の減少により、地域住民の安全が向上、東北自動車道の代替路機能強化による時間信頼性の確保が図られる。</p> <p><b>全体事業費</b> 約80億円      <b>計画交通量</b> 約27,300台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

【宮城県知事】  
 一般国道4号は産業経済活動を支える広域幹線道路であり、本県県土の骨格となる縦軸を形成する極めて重要な路線であります。大衡地区については、本県の一大自動車産業が形成され、近接する一般国道4号大衡地区の拡幅は、さらなる企業立地や雇用拡大など、計り知れない経済効果が期待されます。  
 当該道路の平成28年度の新規事業化と着実な予算の確保をお願いします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

・費用対便益：便益が費用を上回っている。  
 ・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H28.1）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.8	総費用 68億円 （事業費：57億円 維持管理費：11億円）	総便益 124億円 （走行時間短縮便益：112億円 走行経費減少便益：8.0億円 交通事故減少便益：3.8億円）	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量 -10%)	B/C=2.2 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.7 (事業費 +10%)	B/C=2.0 (事業費 -10%)	
		事業期間変動	B/C=1.7 (事業期間 +20%)	B/C=2.0 (事業期間 -20%)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	自動車関連企業等は年々増加傾向にあり、道路整備による円滑な物流確保により、企業立地や雇用拡大等の企業活動を支援 【混雑度】 現況 2.09 → 整備後 0.81[約6割減少] 【旅行速度】 現況 37km/h → 整備後 48km/h[約3割向上]	
		事故対策	○	中央分離帯の設置により、沿道出入りが制限され死傷事故件数が減少 【死傷事故率】 現況 54件/億台キロ → 整備後 33件/億台キロ[約4割減少]	
	社会全体への影響	歩行空間	-	注目すべき影響はない	
		住民生活	-	注目すべき影響はない	
		地域経済	◎	隣接する開通済区間では、企業立地が進み出荷額が増加しており、拡幅事業においても企業立地や雇用拡大等の企業活動を支援 [富谷大和拡幅(H23.3開通)整備前後(富谷町、大和町、大衡村：3町村)の推移] 製造品出荷額 H22開通前 1,912億円 → H25開通後 5,152億円(約2.7倍増)	
		災害	○	交通容量の増加により代替路機能が強化され、通勤等や産業活動での時間信頼性を確保 [東北道通行止め時の最大所要時間の変化] 現況 約83分 → 整備後 約54分(約4割減少)	
		環境	-	注目すべき影響はない	
		地域社会	-	注目すべき影響はない	
		事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了（H28.1） ・宮城県知事、大崎市長、大衡村長より大衡道路の早期事業化の要望	

採択の理由

費用便益比が1.8と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の渋滞緩和や事故削減並びに地域経済等への効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。